

第 7 表 府県別上水道、簡易水道および専用水道の現況

「上水道業務統計調査」および「全国水道施設調査」による。年間の数字は年度間の実績を、その他の項目は年度末現在を示す。用途別年間給水量の内事業用は営業用と工場用とを合したものである。なお普及率は給水人口を総人口で除したものである。

府 県	上 水 道								簡 易 水 道			専 用 水 道	
	管路延長 千km	給水人口 千人	用途別年間給水量 千m ³			1日当り 最大 給水量 千m ³	普及率 %	給水人口 千人	実績年間 給水量 千m ³	普及率 %	給水人口 千人	普及率 %	
			総 数	(内)家庭用	(内)事業用								
昭 和 43 年	153 007	66 411	5 529 450	3 239 344	1 428 816	27 058	64.0	9 281	503 018	8.9	2 312	2.2	
北 海 道	6 243	2 903	170 919	77 325	46 741	868	55.6	436	26 288	8.3	268	5.1	
青 森 県	1 800	727	38 780	18 275	48 777	201	51.1	202	9 649	14.2	14	1.0	
岩 手 県	1 294	469	25 881	12 271	6 003	141	34.2	152	8 359	11.1	39	2.8	
宮 城 県	2 664	1 088	65 125	36 100	21 424	336	59.8	172	9 068	9.5	30	1.7	
秋 田 県	1 249	458	27 375	13 817	6 192	148	36.7	249	11 205	19.9	27	2.2	
山 形 県	2 494	676	39 564	23 075	10 702	212	54.5	143	7 949	11.5	9	0.7	
福 島 県	2 384	905	63 597	30 535	23 652	301	46.5	156	9 318	8.0	48	2.5	
茨 城 県	1 622	603	34 757	24 833	6 981	170	28.8	260	10 946	12.4	55	2.6	
栃 木 県	1 488	582	42 349	19 169	17 514	217	37.5	81	6 119	5.2	35	2.3	
群 馬 県	2 803	951	73 763	44 813	24 606	355	58.1	273	14 641	16.7	11	0.7	
埼 玉 県	6 242	2 461	165 873	124 749	27 672	784	69.1	165	8 113	4.6	70	2.0	
千 葉 県	4 920	1 677	108 948	95 262	9 330	534	54.0	127	4 801	4.1	78	2.5	
東 京 都	12 658	10 238	988 167	897 031	12 239	937	90.2	54	3 820	0.5	282	2.5	
神 奈 川 県	9 044	4 560	500 389	228 768	203 516	206	89.2	143	11 238	2.2	117	2.3	
新 潟 県	4 901	1 499	110 892	70 544	21 948	570	62.5	284	14 114	11.8	12	0.5	
富 山 県	2 015	555	34 098	18 869	10 481	209	53.8	101	6 880	9.8	16	1.6	
石 川 県	2 073	594	49 310	26 433	18 820	271	60.6	117	7 319	11.9	9	0.9	
福 井 県	1 334	368	24 556	15 228	6 239	138	49.1	169	8 962	22.6	11	1.5	
山 梨 県	953	378	28 586	17 136	7 571	176	49.5	220	13 099	28.8	3	0.4	
山 崎 野 郎 県	4 815	1 217	92 391	47 449	34 344	487	62.4	365	22 307	18.7	13	0.7	
岐 阜 県	2 275	785	49 147	30 926	12 553	271	44.9	389	20 723	22.2	57	3.3	
静 岡 県	5 302	1 928	155 900	81 980	58 313	781	63.7	486	29 947	16.0	50	1.7	
愛 知 県	9 574	3 766	312 070	185 027	96 557	1 340	73.0	639	37 008	12.4	178	3.5	
三 重 県	2 646	776	71 555	35 648	28 811	345	51.1	292	12 168	19.2	41	2.7	
滋 賀 県	1 905	494	30 909	20 720	7 548	161	57.1	131	7 085	15.1	20	2.3	
京 都 府	2 873	1 773	151 918	16 192	7 201	761	80.0	149	8 948	6.7	26	1.2	
大 阪 府	10 164	6 996	777 452	281 185	357 378	3 724	78.6	39	2 285	0.4	40	0.4	
兵 庫 県	7 014	3 621	300 893	169 757	54 648	1 449	80.0	310	15 560	6.8	74	1.6	
神 奈 川 県	2 304	623	42 125	27 177	10 346	207	70.0	72	3 513	8.1	18	2.0	
和 歌 山 県	1 424	615	49 709	25 854	17 715	261	57.7	113	6 558	10.6	9	0.8	
鳥 取 県	1 319	328	24 851	18 259	3 200	126	56.5	121	6 754	20.8	15	2.5	
島 根 県	1 285	327	20 936	10 594	7 662	107	42.0	144	8 198	18.5	6	0.8	
岡 山 県	3 476	977	82 756	32 205	35 757	429	58.2	153	7 736	9.1	23	1.4	
広 島 県	3 874	1 453	132 918	84 312	41 930	634	59.8	132	6 553	5.4	24	1.0	
山 口 県	2 020	866	99 757	37 192	50 113	452	56.2	121	6 573	7.9	37	2.4	
徳 島 県	1 213	386	25 166	15 663	5 260	139	48.1	126	6 816	15.7	20	2.5	
香 川 県	1 766	539	34 903	16 490	13 494	188	59.4	91	5 668	10.0	11	1.2	
愛 媛 県	1 706	645	39 829	22 559	9 689	204	45.0	326	16 422	22.7	41	3.0	
高 松 県	679	316	26 809	13 410	7 564	150	39.8	189	13 620	23.8	7	0.9	
福 岡 県	5 635	2 548	177 749	108 932	43 688	862	62.5	94	5 303	2.3	280	6.7	
佐 賀 県	1 220	391	21 085	12 533	4 870	112	45.6	113	5 767	13.1	25	2.9	
長 門 県	1 947	851	49 279	32 860	9 393	264	52.2	341	15 244	20.9	31	1.9	
熊 本 県	1 572	654	45 749	35 917	2 308	231	37.7	222	10 840	12.8	71	4.1	
大 分 県	1 684	546	38 791	24 326	3 531	199	46.7	164	9 675	14.0	37	3.1	
宮 崎 県	1 880	494	29 301	19 070	5 225	141	46.6	94	4 794	8.9	14	1.3	
鹿 児 島 県	3 226	801	52 573	33 874	9 310	259	44.5	353	15 060	19.6	10	0.6	

第 11 章
運 輸、通 信

第11章 運輸および通信

道路概況

府下における昭和44年3月末現在、道路法の適用される国道以下各道路の実延長は、1万4,251kmで、うち規格改良済道路の実延長は6,493kmとなり、総実延長の45.6%をしめている。またほ装道路は6,791kmで、前年に比べて11%強の増加となり、府下の道路状況は年々向上を続けている。

一方、未改良道路の実延長は7,758kmにおよんでいるものの、うち自動車(4トン積の普通貨物自動車)の交通不能道路は2,904kmで、前年よりも126km減少した。

しかしながら、昭和30年代以後の急速な産業経済の発展成長は、道路事情にも急激な変化をもたらした。特にモータリゼーションの著しい進展は、道路需要のひっ迫度を一段と強め、交通停滞現象の多発をもたらした。

これらに対処するため、国や地方では道路の拡張整備、バイパスの新設、高速道路の建設など対策の樹立とその実現に努めている。特に大阪府では、昭和38年以降10大放射線、3環状線と呼ぶ幹線道路の建設に着手し、府下の開発と、交通難による都市機能の回復を図りつつある。

自動車

昭和44年度末現在における府下の自動車登録台数は80万6千台となり、軽自動車39万3千台をあわせて119万9千台が保有されている。これを前年度とくらべると登録車両は約17%の増加となり、その増勢は依然としておとろえていない。地域別にみると、人口のドーナツ化に伴って大阪市の周辺都市で著しく増加しており、大阪市内の自動車台数は府下全体の48.5%と、前年度よりもさらに1.2ポイント減少した。

一方府下の自動車交通量は経済活動の活発化ともあいまって著しく増加している。主要交差点別にみると、最高は守口市大日の1分間118.8台、つづいて梅田新道の95.2台、以下阪神前、杭全町、本町4丁目、大国町、近鉄前となっている。

このような交通量の増大は、都心部ならびに周辺部における交通停滞に拍車をかけ、昭和44年の交通停滞回数(車列が500m以上で30分以上継続したもの)は1万6,602回におよび、前年に比べて45.3%増加した。また1日平均の停滞回数も45.5回となり、昨年の31.3回を大幅に更新した。

鉄軌道

大都市地域への業務機能の集中と、人口のドーナツ化現象は、都心部への交通需要をますます増大させている。

各ターミナルにおける乗車人員をみると、大阪の玄関、国鉄大阪駅では1日35万人、阪急梅田駅では33万人、阪神梅田駅は13万人をかぞえている。一方南大阪方面では、近鉄阿倍野橋駅の13万人、国鉄天王寺駅の7万人をはじめ、近鉄上本町駅が12万人、南海難波ならびに近鉄難波駅がそれぞれ13万人をかぞえている。このほか国鉄京橋駅の5万人、京阪淀屋橋駅の7万人など国鉄、私鉄、地下鉄など乗換駅での乗客数が多くなっている。

また大阪市では、地下鉄の建設が急ピッチで進められ、昭和44年末現在、営業キロ数は64.2kmで43年度末に比べて5割増となった。

海上輸送

後背に阪神工業地帯を擁した大阪府下の港は、一般に原材料を輸移入し製品を出荷するため、輸移入貨物が輸移出を大きく上回っている。

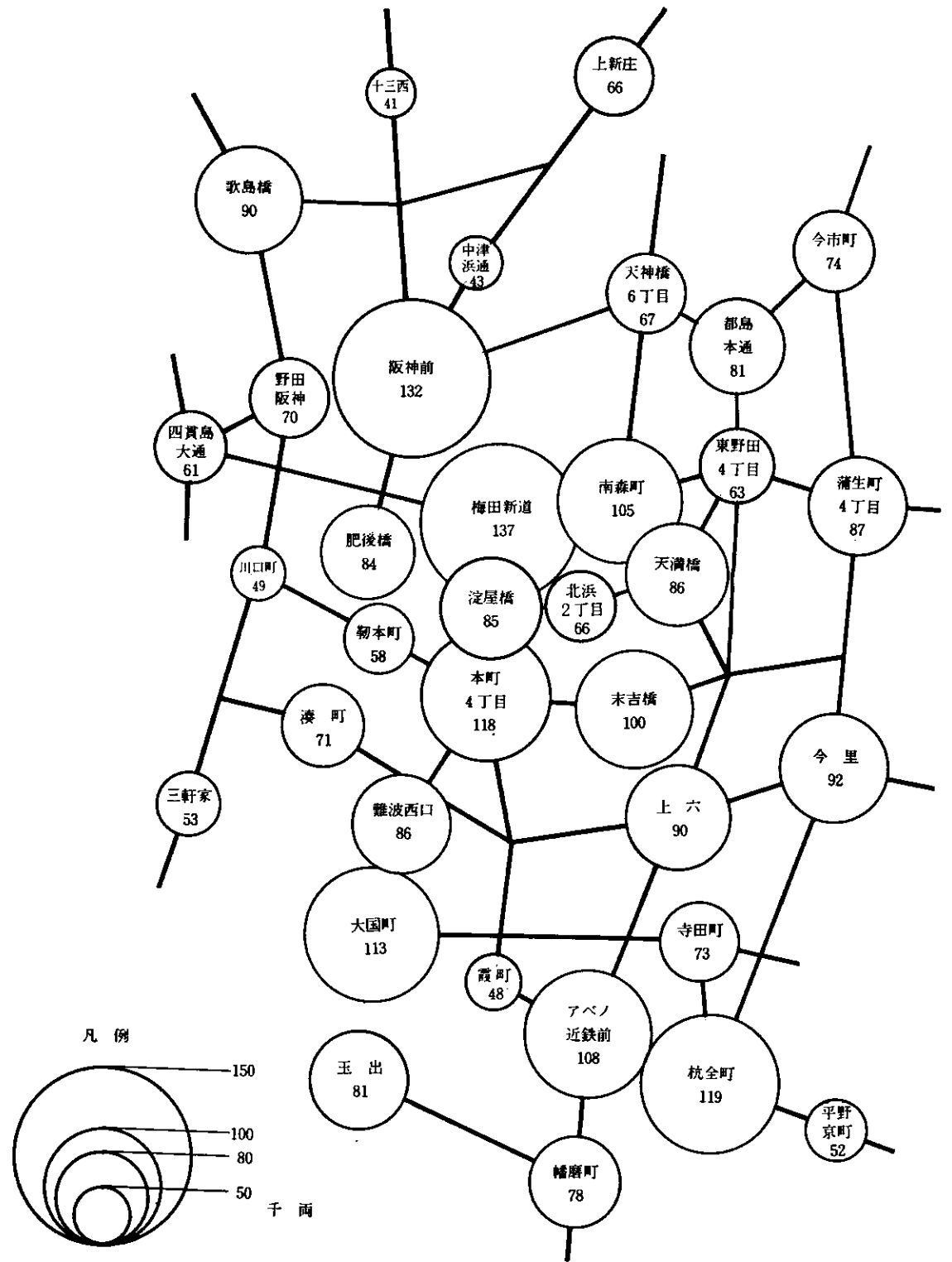
昭和44年度の海上出入貨物数量は輸移出入総量で1億685万トンとなり、そのうち70%強が輸移入貨物で占められている。港別では大阪港の扱量が最も多く、輸移入量の約50%を占めている。

一方昭和44年中の入港船舶トン数をみると、各港全体で1億749万トンで前年に比べて9.5%増となった。港別では大阪港が全体の60%を占め、依然として依存度が高いものの、堺泉北臨海工業地帯やコンビナートの開発整備が進むにつれて、堺泉北港、阪南港への入港船舶も増加している。

電話

府下における開通電話数は、昭和41年度に100万台を越えたのちも毎年15%近い伸びをみせ44年度には150万台に達した。人口100人当りの普及率もはじめて20件を越え20.3件となったものの、一方では加入申込積帯数が昭和44年度には約22万件に達した。市町村別に電話普及率(人口100人当り)をみると、高い順に、大阪市(27.2件)、東大阪市(19.6件)、豊中市、箕面市、忠岡町(各18.9件)となっている。

交差点別自動車交通量(昭和44年)



第1表

一般国道・府道

本表は道路法の適用される標識の道路の各年3月31日現在のものである。但し昭和40年までは大阪府、大阪市、近畿地方建設(指定・認定された路線の全延長)から重用延長(上級の路線に重複している区間の延長)および未供用延長、渡船場延長をない区間である。a)には主要市道を含む。

道路別	実延長			種類別内訳				幅員			鉄道との交差(国・私鉄)	
	総数	規格改良	未改良	道路延長	橋りょう		トンネル		規格改良済			
		済延長	延長		橋数	延長	個数	延長	7.5m以上	5.5m以上		5.5m未満
昭和40年	13 371.1	4 900.1	8 471.0	13 169.0	6 658	75.8	18	1.0	1 436.6	1 545.5	1 919.0	
41	13 838.3	5 591.0	8 247.3	13 762.9	6 607	74.3	27	1.4	1 272.7	1 653.8	2 664.6	
42	14 001.5	5 799.8	8 201.7	13 919.0	6 854	80.8	27	1.7	1 297.1	1 729.1	2 773.6	
43	13 988.3	6 079.8	7 908.5	13 905.4	6 757	81.4	19	1.5	1 364.7	1 827.3	2 887.8	
昭和44年	14 251.0	6 492.7	7 758.3	14 162.5	6 858	86.2	16 1/2	2.2	1 477.9	1 928.4	3 086.4	
国道総数	275.0	266.5	8.5	261.6	329	12.7	1/2	0.7	203.8	61.7	1.0	
府道総数	1 485.5	1 171.8	313.7	1 458.1	1 281	26.5	8	0.9	408.3	534.1	229.4	
a) 主要地方道	616.0	542.2	73.8	599.2	607	16.5	3	0.3	290.0	205.0	47.2	
主要地方道以外	869.5	629.6	239.9	858.9	674	10.0	5	0.6	118.3	329.1	182.2	
市町村道総数	12 490.5	5 054.4	7 436.1	12 442.8	5 248	47.0	12	0.7	865.8	1 332.6	2 856.0	

資料 建設省道路局企画課「道路統計年報」

第2表

橋りょう数

本表は各年3月31日現在橋長2メートル以上のものに関する現況調べでa)には主要市道を含む。43年以前は15m未満

道路別	総数									
	総数		100m以上		30m以上100m未満		15m以上30m未満		15m未満	
	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長
昭和40年	6 658	75 787	399	28 224	6 249	47 563
41	6 607	74 300
42	6 854	80 800	56	15 967	364	...	6 434
43	6 757	81 400
昭和44年	6 848	86 241	89	24 507	333	14 525	981	17 588	5 445	29 621
国道総数	334	13 569	23	9 760	32	1 606	38	823	241	1 380
府道総数	1 266	25 566	43	11 085	102	5 070	169	3 510	952	5 901
a) 主要地方道	592	15 584	32	9 139	48	2 265	68	1 484	444	2 696
主要地方道以外	674	9 982	11	1 946	54	2 805	101	2 026	508	3 205
市町村道総数	5 248	47 106	23	3 662	199	7 849	774	13 255	4 252	22 340

資料 建設省道路局企画課「道路統計年報」

市町村道の現況

局のそれぞれ主管課の計数を合算したものであるが41年以降は「道路統計年報」による。なお、道路の実延長とは総延長除いたものをいう。また、自動車交通不能は幅員、勾配その他の状況により最大積載量4トンの普通貨物自動車が行き

別内訳	未改良				砂利道	路面別内訳				渡船場		鉄道との交差(国・私鉄)
	は					総数	装道			個数	延長	
	4.5m以上	3.5m以上	3.5m未満	うち自動車交通不能			セメント系	高級アスファルト系	簡易アスファルト系			
車道	343.1	1 331.0	6 796.9	3 698.7	9 659.6	3 711.5	1 030.7	1 258.1	1 458.1	26	3.7	...
車道	614.2	1 619.1	6 014.0	3 258.1	9 201.6	4 636.7	1 005.0	1 749.6	1 882.1	25	3.7	1 838
車道	663.3	1 714.4	5 824.1	3 121.2	8 618.7	5 382.8	989.4	2 073.6	2 319.8	25	3.7	1 604
うち自動車交通不能	675.2	1 652.6	5 580.7	3 030.6	7 885.2	6 103.1	1 003.4	2 580.2	2 519.5	14	1.8	1 904
総数	665.9	1 590.0	5 502.4	2 904.3	7 459.7	6 791.3	974.4	2 989.1	2 827.8	14	1.9	1 928
5.5	2.6	0.4	0	10.2	264.8	31.4	233.1	0.3	0	0	0	56
45.8	108.5	159.4	23.6	235.4	1 250.1	113.9	1 102.2	34.0	2	0.4	2	263
10.9	28.1	34.8	5.0	64.9	551.1	77.2	462.7	11.2	0	0	0	118
34.9	80.4	124.6	18.6	170.5	699.0	36.7	639.5	22.8	2	0.4	2	145
614.6	1 478.9	5 342.6	2 880.7	7 214.1	5 276.4	829.1	1 653.8	2 793.5	12	1.5	12	1 609

および延長

満は30m以上~100m未満に、石橋はコンクリート橋を含む。

橋	鋼橋		コンクリート橋		鋼橋とコンクリート橋との混合物		木橋		石橋		鋼橋又はコンクリート橋と木橋又は石橋との混合物	
	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長	橋数	橋長
577	21 594	4 287	34 313	116	1 882	1 541	16 683	106	901	
...	
...	
...	
650	29 979	3 832	35 966	150	3 807	1 448	13 725	673	2 092	95	672	
69	10 481	257	2 866	3	208	-	-	-	-	5	14	
177	9 673	1 029	14 318	10	1 323	21	154	15	44	14	54	
92	6 598	474	8 076	5	809	4	37	3	10	14	54	
85	3 075	555	6 242	5	514	17	117	12	34	-	-	
404	9 825	2 546	18 782	137	2 276	1 427	13 571	658	2 048	76	604	

第3表

国有鉄道各駅別旅客運輸状況

本表は、鉄道統計規定に基づく資料を累計したもので、各駅の乗継ぎ人員および新聞・雑誌扱いは含まれない。

Table with columns: 駅名, 乗車人員 (総数, 定期外, 定期, 定期率), 手小荷物 (発送個数, 到着個数), 旅客収入 (総額, うち定期, 定期率). Rows include 東海道本線, 環状線, 福野西弁大, 新芦寺桃鶴, 玉森京桜天, 桜島線, 安桜, 関西本線, 河内堅上原, 河内王.

[注] 旅客収入は各駅の取扱収入である。資料 大阪鉄道管理局経理部コンピューター課「駅勢報告年報」

第3表

国有鉄道各駅別旅客運輸状況 (続)

Table with columns: 駅名, 乗車人員 (総数, 定期外, 定期, 定期率), 手小荷物 (発送個数, 到着個数), 旅客収入 (総額, うち定期, 定期率). Rows include 片町線, 長津河星忍, 四野住鴻徳, 放鴨片, 阪和線, 美南鶴長我, 杉浅堺三百, 上野芝野, 富北信木太, 信和久東東, 和泉橋本, 和泉佐野, 新和山和.

第4表

国有鉄道各駅別貨物運輸状況

前表項注参照 貨物収入の総数と内訳の差は雑収入。

Table with columns for Station Name, Date (昭和42, 43, 44), and various metrics: 発件数, 送トン数, 到着件数, 着トン数, 貨物収入総数, うち小口扱, うち取扱. Includes lines like 東海道本線, 高根次吹吹梅宮, 環状線, etc.

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員

南海電鉄、近畿日本鉄道は43年中の1日平均、京阪神急行電鉄、京阪電鉄、阪神電鉄は交通量調査による。(印は乗換駅を表わす。)

Table with columns for Station Name, Date (昭和42, 43, 44), and metrics: 乗車人員総数, 定期, 定期外. Includes lines like 南海本線, 京阪本線, 京阪神急行電鉄, etc.

第5表

府下私鉄各駅別乗車人員(続)

Table showing passenger counts for private railways in the Osaka area. Columns include station names, total passenger counts, and counts for regular and irregular periods.

第6表

大阪市高速鉄道(地下鉄)駅別乗降人員

45年1月27日実施の交通量調査による。なお、阪急電車は相互乗入区間直通客の阪急電車側乗降客数である。

Table showing passenger counts for Osaka Metro stations. Columns include line/station names, total passenger counts, and counts for regular and irregular periods.

資料 大阪市交通局。

第7表

交通公社等旅客あつ旋および荷物扱状況

本表は昭和44年3月31日現在の数字である。

Table showing passenger and baggage statistics for various transport companies. Columns include company names, passenger counts, and baggage handling statistics.

資料 大阪鉄道管理局経理部コンピューター課調。

第 8 表

大 阪 市 営 電 軌 ・

車両数、営業キロ数は各年度末現在数である。路面電車は全面廃止。

年 度	路 面 電 車							
	車 両 数	営 業 千 米	乗 車 人 員		乗 車 料 入 千 円	走 行 1 千 米 当 り		
			総 数	(内) 定 期		乗 人	車 員	乗 車 料 入
昭和 41 年度	304	72.6	140 561	63 751	2 221 502	10.9		171.6
42	243	63.1	105 805	44 246	1 879 939	10.8		190.9
43	73	15.2	61 158	25 207	1 261 971	12.7		263.0
昭和 44 年度	-	-	-	-	-	-	-	-

年 度	高 速 鉄 道 (地 下 鉄)							
	車 両 数	営 業 千 米	乗 車 人 員		乗 車 料 入 千 円	走 行 1 千 米 当 り		
			総 数	(内) 定 期		乗 人	車 員	乗 車 料 入
昭和 41 年度	358	35.4	408 916	230 659	8 319 433	12.8		260.8
42	364	36.7	443 914	252 184	10 165 670	13.4		307.9
43	438	42.7	454 261	255 275	13 208 331	13.6		395.1
昭和 44 年度	608	64.2	533 555	285 327	15 787 707	13.1		388.7

資 料 大阪市交通局企画課。

第 9 表

私 営 鉄 道 事 業 概 況

大阪府内に本社を有する 6 社のものをまとめたもので、いずれも年度中のものであるが、車両数は各年度末現在の保有数で機関車、客車その他を含む。

年 度	車 両 数	営 業 千 米	輸 送 実 績		運 輸 収 入				
			輸 送 人 員	輸 送 貨 物	総 数	旅 客 収 入	貨 物 収 入	荷 物 収 入	雑 収 入
昭和 40 年度	3 722	1 095.6	1 934 608	1 850 715	52 573 280	49 823 689	345 797	210 121	2 193 674
41	3 881	1 087.2	1 990 280	1 821 321	66 865 826	62 122 068	387 843	255 647	4 100 268
42	4 278	1 087.2	2 030 068	1 789 468	70 830 977	65 423 999	412 212	256 292	4 838 474
43	4 185	1 087.2	2 118 916	1 618 594	75 085 467	69 050 191	362 388	243 739	5 429 149
昭和 44 年度	3 780	1 101.5	2 211 846	1 520 052	81 153 852	74 036 921	305 048	275 144	6 536 739

資 料 各本社総務課。

第 11 表

主 要 交 差 点

交差点別交通量調査の結果で、7時～19時の12時間について橋筋歩道通行者を方向別に調査したものである。

年 次	梅 田 新 道	天 満 橋	北 浜 2 丁 目	淀 屋 橋	本 町 4 丁 目
昭和 42 年	88 860	58 928	19 301	45 601	79 927
43	83 048	86 255	21 796	84 085	69 646
昭和 44 年	67 327	58 290	14 360	43 666	42 332
東 側 南～北	9 319	6 275	2 085	4 938	5 933
北～南	9 537	4 959	2 004	4 178	6 539
西 側 南～北	13 419	10 933	1 966	5 864	8 759
北～南	15 923	10 258	1 550	5 432	5 564
南 側 東～西	5 242	5 622	2 778	5 328	4 240
西～東	4 927	5 575	2 413	4 443	3 816
北 側 東～西	4 534	8 082	792	7 667	4 145
西～東	4 426	6 586	772	5 816	3 336

資 料 大阪府警察本部「交通量統計表」

バ ス 事 業 概 況

無 軌 条 電 車 (ト ロ リ ー バ ス)							
車 両 数	営 業 千 米	乗 車 人 員		乗 車 料 入 千 円	走 行 1 千 米 当 り		
		総 数	(内) 定 期		乗 人	車 員	乗 車 料 入
134	36.7	46 809	19 089	969 916	7.3		152.0
134	36.7	41 019	15 623	939 352	7.1		162.0
134	36.7	35 287	13 201	905 671	7.3		186.8
35	10.8	19 974	7 688	513 855	6.8		176.0

乗 合 自 動 車							
車 両 数	(内) 一 般 乗 合	一 般 乗 合		乗 車 料 入 千 円	観 光 バ ス		
		輸 入	送 員 乗 車		輸 入	送 員 旅 收	客 入
1 994	1 886	393 684	8 585 394	1 024.2		158 349	
1 966	1 847	364 436	8 636 165	1 020.9		176 090	
1 900	1 847	346 461	9 122 250	818.5		158 432	
1 843	1 790	352 210	9 289 355	750.6		161 547	

第 10 表

私 営 乗 合 自 動 車 輸 送

大阪府下に本社を有する 26 社のものをまとめたものである。車両数は年度末現在数である。なお会社数は年度により変動がある。

年 度	車 両 数	一 般 乗 合		特 定 旅 客		観 光 バ ス	
		総 走 行 千 米	輸 送 人 員	総 走 行 千 米	輸 送 人 員	総 走 行 千 米	輸 送 人 員
昭和 40 年度	2 417	70 136 177	388 135 492	-	-	24 691 088	10 889 331
41	2 159	75 342 292	276 229 775	1 588 900	1 196 327	25 347 436	10 277 435
42	4 390	141 592 372	696 950 378	-	-	41 910 405	14 300 443
43	4 474	132 353 617	692 744 314	-	-	44 205 341	14 069 013
昭和 44 年度	4 636	134 305 307	705 850 992	-	-	49 048 968	15 759 894

資 料 大阪陸運局「陸運要覧」。

歩 行 者 交 通 量

肥 後 橋	上 本 町 6 丁 目	末 吉 橋	難 波 西 口	十 三	年 次
13 681	105 141	-	73 105	41 184	昭 和 42 年
19 348	89 652	-	77 442	51 652	43
16 677	112 852	13 604	62 854	45 320	昭 和 44 年
2 479	13 586	1 747	11 410	-	東 側 南～北
1 846	17 209	1 633	9 837	-	北～南
2 510	7 631	2 018	8 216	1 480	西 側 南～北
2 456	20 015	1 760	5 404	9 372	北～南
1 489	25 200	1 956	10 638	10 866	南 側 東～西
1 790	20 051	1 983	9 225	11 555	西～東
1 758	4 391	1 421	2 987	4 672	北 側 東～西
2 349	4 769	1 086	5 137	7 375	西～東

第12表 路線別・地点別交通停滞発生状況

交通停滞とは500m以上の渋滞車列が30分以上継続した状態をいう。

区 分	総 数	月											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
停 滞 回 数													
昭 和 41 年	6 772	259	551	690	734	366	343	416	270	527	751	738	1 127
42	8 647	449	651	1 004	730	774	508	628	462	667	724	872	1 178
43	11 424	517	934	1 026	951	896	688	790	534	902	1 202	1 242	1 742
昭 和 44 年	16 602	852	1 192	1 700	1 316	1 240	1 281	1 223	822	1 479	1 782	1 625	2 090
路 線 別													
国道25号線	1 741	145	193	216	103	133	96	113	67	159	165	169	182
福知山大阪線	1 048	101	109	149	132	94	72	76	56	43	95	77	44
大阪中央環状線	860	31	54	79	69	61	77	70	64	56	96	95	108
国道26号線	798	37	56	99	91	64	72	71	33	53	53	70	99
大阪生駒奈良線	764	35	58	73	71	67	54	54	38	84	84	73	73
大阪和泉泉南線	718	61	67	59	56	60	67	57	48	65	63	54	61
大阪高槻京都線	633	25	39	41	50	53	61	56	37	59	93	72	47
国道2号線	632	12	19	38	41	45	56	49	30	69	88	83	102
国道43号線	566	49	48	88	40	32	23	25	25	61	40	46	89
国道1号線	551	8	14	28	43	22	46	60	39	52	82	47	110
南 北 線	501	38	36	48	60	44	53	27	14	26	42	51	62
大阪上野線	496	9	20	35	39	45	38	24	20	67	78	52	69
大阪神高空港線	469	14	25	32	25	27	24	38	30	48	54	63	89
大阪枚岡奈良線	438	16	25	15	16	14	42	28	19	59	74	54	76
九条今里線	396	9	17	33	17	21	34	23	21	41	48	48	84
その他	5 991	262	412	667	463	458	466	452	281	537	627	571	795
地 点 別													
平野京町	727	21	29	64	70	51	63	86	37	79	76	87	64
庭の近鉄	642	24	42	50	48	39	49	53	48	51	67	73	98
あべの田	577	52	61	47	50	51	56	48	40	48	38	40	46
安天	497	28	40	43	40	42	28	36	26	58	59	49	48
天門真南	462	24	17	34	51	51	65	39	26	35	34	38	48
6	404	10	19	25	7	23	38	39	26	43	73	53	48
344	344	6	12	18	19	30	31	22	18	45	57	41	45
337	337	16	27	41	15	34	24	15	16	33	40	35	41
316	316	90	112	76	2	8	1	2	-	8	5	12	12
310	310	15	13	28	23	28	21	18	16	40	53	28	27
花園町	305	8	21	43	35	25	26	32	10	19	20	27	39
304	304	45	33	44	53	44	25	33	14	-	5	7	1
295	295	20	25	34	25	26	24	23	24	22	26	25	21
288	288	15	32	43	19	28	11	18	6	27	28	28	33
287	287	11	7	12	42	25	40	49	13	11	28	32	17
10 507	10 507	467	702	1 098	817	735	779	710	502	968	1 170	1 057	1 502
停 滞 時 間 数													
昭 和 41 年	8 493	354	710	956	988	374	342	532	316	551	908	1 022	1 437
42	8 647	449	651	1 004	730	774	508	628	462	667	724	872	1 178
43	16 154	703	1 307	1 590	1 395	1 226	859	1 059	787	1 281	1 850	1 715	2 381
昭 和 44 年	21 490	1 324	1 767	2 398	1 803	1 504	1 382	1 420	927	1 821	2 147	2 173	2 824

資料 大阪府警察本部交通情報センター。

第13表 大阪市内主要路線の車両交通量

主要路線について実施している路線別交通量調査の結果で7時~19時の12時間にわたり調査地点を通行した車両について往復の流れをそれぞれ一つとして計上したものである。なお、軽車両は自転車、荷車等のことである。

路 線 名	調 査 地 点	昭和44年11月28日				昭和42年11月17日			
		乗用自動車	貨物自動車	二輪(含軽原付)	軽車両	乗用自動車	貨物自動車	二輪(含軽原付)	軽車両
国道2号線	北区出入橋交差点東方	15 793	15 190	1 618	676	-	-	-	-
なにわ筋	北北玉江橋交差点南方	9 842	14 072	785	350	-	-	-	-
長柄堺線	北区空町2丁目交差点北方	7 346	11 073	940	227	-	-	-	-
国道1号線	都島区国鉄環状線ガード下付近	19 283	21 687	1 311	348	16 928	21 718	2 510	1 399
海老江梅田線	福島区中海老江交差点東方	5 010	14 034	485	418	-	-	-	-
野田桜川住吉線	福島区玉川町4丁目交差点南方	8 556	24 489	799	572	8 625	26 193	1 240	985
堺 筋	東区本町2丁目交差点南方	15 635	11 340	1 215	454	16 413	8 741	1 337	464
長柄堺線	東区谷町4丁目交差点北方	13 657	14 744	1 387	415	-	-	-	-
南 北 線	西区阿波座中1丁目交差点南方	14 678	16 154	1 275	524	20 604	17 004	2 844	844
なにわ筋	西区立売堀北2丁目交差点南方	12 140	21 905	1 052	314	-	-	-	-
福島恵美須線	西区あみだ池交差点南方	5 842	9 883	429	234	4 218	7 929	625	469
国道172号線	港区市岡元町3丁目交差点西方	10 289	13 460	1 093	1 252	9 370	11 369	1 695	1 565
本田大運橋線	大正区大正警察署前付近	10 365	18 977	970	350	7 564	17 522	1 034	807
森の宮天王寺線	天王寺区下味原交差点南方	11 106	13 647	1 238	493	11 086	16 135	1 746	627
九条今里線	天王寺区上本町2丁目交差点西方	11 719	21 803	1 319	459	17 737	29 666	3 311	1 138
長柄堺線	天王寺区谷町9丁目交差点南方	15 844	22 856	1 976	540	-	-	-	-
大阪枚岡奈良線	南区下寺町交差点東方	13 654	13 998	521	230	13 606	9 982	1 423	529
松屋町筋	南区下寺町交差点南方	11 507	18 124	1 616	808	12 354	17 528	2 878	882
大阪枚岡奈良線	浪速区桜川2丁目交差点西方	6 908	9 575	427	280	8 653	14 403	927	421
国道25号線	浪速区浪速警察署前付近	9 503	19 018	982	388	9 499	19 632	2 115	881
北大阪線	大淀区中津南通2丁目交差点西方	5 490	9 861	532	194	9 251	22 184	991	181
国道2号線	西淀川区西淀川警察署前付近	16 074	30 665	796	523	14 696	36 140	1 416	802
淀川右岸線	東淀川区阪急電鉄ガード下付近	5 541	11 329	500	113	-	-	-	-
淀川北岸線	東淀川区阪急電鉄ガード下付近	7 737	12 651	1 000	478	-	-	-	-
大阪高槻京都線	東淀川区長柄橋北詰阪急ガード下付近	27 854	35 213	2 347	436	17 022	33 654	2 012	182
大阪枚岡奈良線	東成区今里交差点東方	12 211	17 192	926	304	11 570	22 956	2 847	1 043
難波足代線	生野区勝山通7丁目交差点西方	13 272	22 155	1 732	974	14 073	24 982	2 887	1 957
国道1号線	旭区今市交差点北方	21 757	25 462	1 819	592	17 613	23 280	2 586	1 009
国道163号線	城東区森小路1丁目交差点東方	9 192	15 441	974	512	9 207	23 203	1 661	696
大阪環状線	城東区訪歌西2丁目北交差点北方	10 071	23 333	1 526	498	10 093	23 653	3 334	1 666
杭全阿倍野木津川線	阿倍野区齊場前交差点西方	10 289	12 644	1 401	1 063	-	-	-	-
大阪和泉泉南線	住吉区播磨町交差点南方	15 963	19 757	893	297	14 326	20 662	1 885	816
敷津喜連線	東住吉区湯里4丁目交差点東方	6 004	9 313	651	285	-	-	-	-
国道25号線	東住吉区平野警察署前付近	14 085	23 805	1 081	833	12 777	26 985	3 635	2 903

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第14表

昭和44年交差点別、時間別自動車交通量

自動車の調査対象区分別に交差点を直道、左(右)折したものに区別して調査した。なお1時間毎のものを2時間にまとめた。

Table with columns for intersection names, total volume, and time intervals (7-9, 9-11, 11-13, 13-15, 15-17, 17-19, 19-21, 21-23, 23-1, 1-7). Rows include city center totals and various intersections like 前目道通, 野田大満通, etc.

資料 大阪府警本部「交通量統計表」

第15表

府県別自動車流出入交通量

Table with columns for route names, intersection names, direction, volume, and percentage. Rows include major routes like 国道2号線, 国道48号線, 国道1号線, etc., and their respective intersections.

資料 大阪府警察本部「交通量統計表」

第16表

市郡別登録

各年とも年度末現在数。ただし、各年共軽自動車を除く。自動車の種類は道路運送車両法に基くもので、自動車のうち

Table with columns for City/County (市郡), Registration Year (昭和42年度, 昭和43年度, 昭和44年度), and Vehicle Type (Total, General, Small 4-wheel). Rows list various municipalities like Osaka, Sakai, and Hyogo.

資料 大阪府陸運事務所登録課

第17表

旅客自動車輸送実績

自動車輸送統計(指定統計第99号)によるものである。自動車輸送実績は登録自動車を対象としており、軽自動車および小型二輪車の実績は含まない。なお、消防車、ブルトーザなども除いてある。

Table showing passenger vehicle transport performance by month/year, categorized by vehicle type (General, Commercial, Private) and mode (Total, Motorcycles, Bicycles).

資料 運輸省「陸運統計年報」

自動車数

小型とはエンジンの総排気量が360ccをこえて2,000cc以下のもの、普通はそれ以上のものとして大別される。

Table showing the number of vehicles by type (Small 3-wheel, Small 4-wheel, General, Commercial, Special Use, Construction Machinery) and registration year.

第18表

貨物自動車輸送実績

前表頭注参照

Table showing freight vehicle transport performance by month/year, categorized by vehicle type (General, Commercial, Private) and mode (Total, Motorcycles, Bicycles).

資料 運輸省「陸運統計年報」

第19表

大阪国際空港航空輸送量

国内線は日航、全日空、国際線は日航、キヤセイパシフィック、中国民航のみの計数である。

Table with columns for Year/Month, Domestic Lines (Passenger/Freight), and International Lines (Passenger/Freight). Rows include monthly data from 1942 to 1944.

資料 運輸省大阪航空局大阪空港事務所

第20表

船舶数

船舶統計調査規則に基づく近畿海運局管内の日本船舶に関するもので漁船を含まない。(各年7月1日現在)

Table showing ship statistics by year (昭和40-44) and ship type (Steel, Wood). Columns include ship count and tonnage.

資料 近畿海運局運輸部輸送課。

第23表

海上出入

各年間中の数字で「港湾統計調査」によるものである。総数には尾崎港の数が含まれている。

Table showing maritime trade statistics by commodity (Agriculture, Forestry, etc.) and port (Osaka, Sakai, etc.). Columns include export and import tonnage.

資料 大阪府土木部港湾課、大阪市港湾局

第21表

入港船舶数

港湾統計調査(指定統計)による各年間の数字である。44年より汽船、機帆船の区別なし。

Table showing ship arrival statistics by port (Osaka, Sakai, etc.) and ship type (Steamship, etc.). Columns include ship count and tonnage.

資料 大阪府土木部港湾課、大阪市港湾局「港勢一斑」

第22表

大阪港の乗降船客数

大阪市内中央突堤、天保山棧橋および船着場(木津川、安治川)における乗降客数である。39年の内回航路の内訳の合わないのは坂手高松線が含まれているためである。

Table showing passenger statistics for Osaka Port by route (Domestic, International, etc.) and year (昭和40-44). Columns include passenger count.

資料 大阪市港湾局「港勢一斑」

貨物数量

Table showing cargo statistics by port (Osaka, Sakai, etc.) and commodity type. Columns include cargo tonnage.

